

岩手の高速道路ネットワーク化の早期実現を訴える！！

東北横断自動車道釜石秋田線、三陸縦貫自動車道、八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路等整備促進 岩手県総決起大会を開催しました

道路建設課

平成 21 年 11 月 21 日（土）釜石市において、岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会等関連 10 団体が、東北横断自動車道釜石秋田線等の高規格幹線道路の整備促進を求めて、岩手県総決起大会を開催しました。

本大会には、県内はもとより秋田県、宮城県の市町村長など約 1,000 人が集まり、**多くの未整備区間が残されている岩手県内の実情に理解を求め、県民の声として、地方の希望をつなぐ高規格幹線道路等をはじめとする幹線道路ネットワークの整備の必要性をアピールしました。**

【大会概要】

○挨拶・祝辞等

主催者を代表して、達増知事が「本県では、高規格道路から生活道路まで体系的な整備が必要であり、新しい県の長期計画に掲げる『希望郷いわて』の実現には、**高規格幹線道路等の着実な整備とそれに必要な道路予算確保が重要**である。県民の熱い思いとともに国などに強く訴えたい」と挨拶しました。

また、開催市を代表して野田武則釜石市長が「**道路は最も身近な社会資本のひとつ**。沿岸住民にとっては、**安全・安心な生活を支える上で、必要不可欠**だ。道路整備の見通しは厳しい状況だが、今後とも力を結集し、全力で取り組みたい。」と挨拶しました。

続いて、来賓の参議院議員工藤堅太郎氏、衆議院議員黄川田徹氏、参議院議員主濱了氏、県議会議長佐々木一榮氏が祝辞を述べ、早期全線開通に向け熱いエールが送られました。



主催者挨拶を述べる達増知事



開催市代表挨拶を述べる野田釜石市長



講演する中村圭介教授

○基調講演

基調講演は、東京大学社会科学研究所の中村圭介教授により「道路が拓く地方の希望」と題して行われました。中村教授は同研究所が釜石で実施した「希望学」の調査に携わり、この経験を踏まえて、「**道路網の整備は外部とのネットワーク構築という物理的条件を与えてくれるもの**。それを利用し情報収集などを積極的に実践することで、**地域の活性化につながる**。」と、地域における道路整備の重要性を説明しました。

○大会決議

釜石ロード女性の会の竹内敦子会長が、**〇ミッシングリンクを解消し早期全線開通 〇道路整備予算の確保 〇地域活力基盤創造交付金の十分な確保 〇道路事業の費用便益分析に救急医療、災害対策、地域振興の要素を加えるなど地域の実情を十分考慮し、総合的な事業評価を**と大会決議案を朗読し、満場一致の拍手で採択されました。



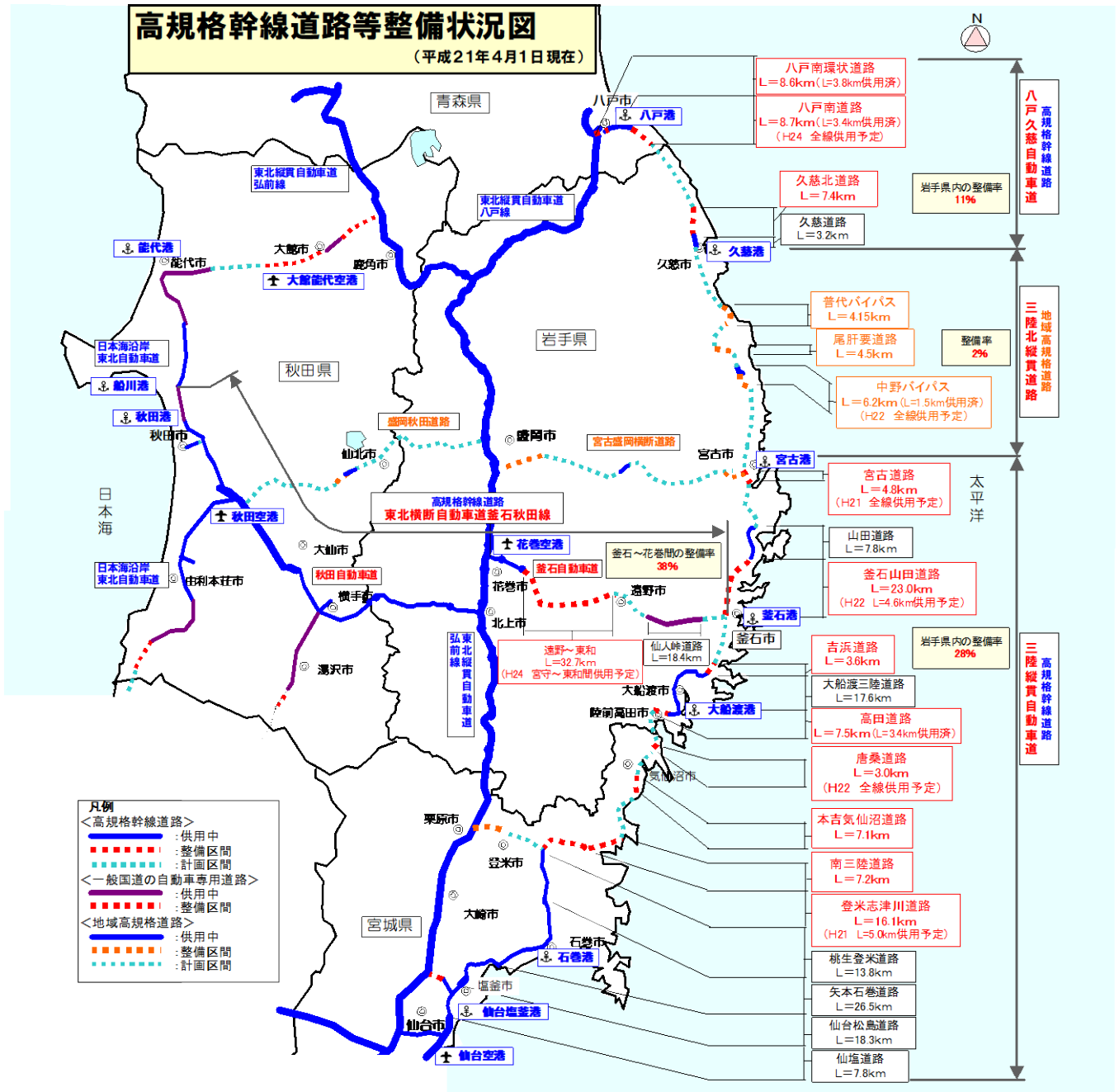
万歳三唱で県民の
熱い思いをアピール



最後に

- 「地方の希望をつなぐ道路整備（釜石市長）」
- 「命を繋ぐ三陸縦貫自動車道の整備促進（宮古市長）」
- 「真に必要な道の一つ『八戸久慈自動車道の早期全線完成を！』（久慈市長）」

などの沿線市町村長のメッセージを添えて、決議文を来賓の国会議員に手渡し、出席者全員で万歳三唱し、閉会しました。



【意見交換会】

大会終了後、意見交換会が開かれ、**県内の改築系直轄道路事業費が22～39%と大幅に減額（平成21年度比）となる見通し**が示されたことから、**沿線市町村長は予算縮減に危機感**を示し、**県選出国会議員**に対して**沿線地域の実情を訴え、医療や防災の観点からも、引き続き道路整備を促進するよう要望**しました。

